

寄稿

# 「街」のグランドデザイン

「おだわらを拓く力」 加藤憲一

3つの

## 「街」の問題

古くから、地域内の各所で栄えてきた「商店街」の

衰退。駅前で繁栄を誇った

「中心市街地」の衰退。外

部大手資本と自動車社会で

消費の中心となった「川東

地区」の没落。この3つは、

時代の流れの中で順番に発

生してきた問題ですが、ひ

とつ大きな地域ビジョン

のもとに同時に解決する方



かとうけんいち：1964年小田原生まれ、39歳。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体事務局長、農・林・漁業、あしがら農の会代表、ほっとファイブダウン理事、小田原市政総研市民研究員などを経て、現在オービックビル事務局長。妻と子ども二人の4人家族。趣味は山登り。

## 中心

## 市街地

東西自由通路が開通し、

駅ビル建設や東口駐車場の

再開発計画などの中、いよ

いよ厳しさを増す中心市街

地。本来は、資源豊かな

「あしがら」に開かれた玄

向を目指すべきです。それは、地域の持つ資源を活かし、人と人との結びつきを創り直す、という方向です。

## 中心

## 市街地

「出会いと夢をなした街」。生産者・商業者に加え小田原に愛着を持つ内外の人材が一体となった「ここにしかない」空間作りを目指すべきです。

## 各地の

## 商店街

地域コミュニティの地理的中心（歩いてゆける立地性）であることを活かし、周辺住民の日常生活を支え地域を守る必要機能を、地域を挙げて整えてゆくべきです。食料品、生活雑貨、消耗品、食事の宅配、託児

または児童館、お年寄りの

## 川東

## 地区

中心市街地と各商店街の活性化により、過度の集中を分散・適正化することが可能です。☆1月より公開勉強会を開催しています。詳しくはホームページを。

## おだわらを拓く力

(加藤けんいち後援会)

代表/飯田和

小田原市栄町2-9-46

オービックビル2F

TEL&FAX 0465-22-6695

http://www.lop-nur.com/katoken-power/

katoken-power@lop-nur.com

HPに日記掲載中

スタッフ募集中!